

文化祭の感想から…Part II

コロナウイルスの影響で、クラス合唱がなくなり学年合唱だけになってしまったけど、その1つの合唱にすごく気持ちが入った、合唱になったと思います。まず、2年生の合唱では、周りの人への感謝を伝えることが2曲ともに共通して伝えられています。練習の時から、どんな気持ちで自分たちは歌うのか考えるように言われていました。今日の本番では、1人1人が伝えたい人へ伝えられたと思います。この文化祭で私は、もちろん歌うことの技術は大切だけど、誰もがその技術を身につけられているわけじゃないです。だけど、1人1人が歌うなかで誰に伝えたいのかを、よく考えて気持ちをつくることはできるので、技術より気持ち次第ですごく学年合唱は特に1人1人が集まってつくりあげるものだから、変わるなと思いました。また3年生の合唱を見て、さすがだなあと感じました。一番心に残ったのは、一度間が空いてからの2曲目の入り方の迫力がすごかったです。あれだけの迫力のある合唱をみせられるのはすごいと思いました。ラテン語だったので、どんな感じなんだろうと思い、すごく引き付けられました。来年には、私達が学年合唱をつくりあげるといふより、学校の文化祭をつくりあげていけないといけないので、3年生をこえる目標をもって頑張ります。(6組 女子)

私は文化祭を終えて、先輩方への感謝や、普通ではないとゆうことを改めて感じられました。3年生の先輩たちはコロナのせいで、色んな行事がつぶれて、延期になったりして、とても大変な中、今自分にできる事を精一杯して本当に尊敬できるし、その背中、姿などを見られたから、私達2年生や1年生も頑張れてこれたんじゃないかなと思うのでそこに感謝だなと思いました。コロナのせいで今までやってきた当たり前のことが、潰れて延期になったことに関して、私は「この今やってること、していることは普通のことじゃないんだな」って思いました。一番簡単に言えば、親、姉妹、おじいちゃん、おばあちゃんがいることに関して普通ではないんじゃないかなと思います。そう思ったら文化祭や、この前の行事の体育大会は本当に普通じゃないんだと感じました。このような短縮でも、こういう会を開いてくれた先生にも、すごい感謝だなと思いました。だから、この経験をしっかり忘れずにこれからの学校生活、普通の生活に活かしていきたいなと思いました。(6組 女子)

僕は、文化祭を終えて感じたことが2つあります。1つ目は、指揮者をするにはとても責任があるということです。指揮者は、みんなの歌を引っ張っていかなければなりません。そのため、緑学年の歌声が悪ければ、僕のせいとなるので、人より何倍も努力しました。2つ目は、3年生の歌声です。3年生の先輩は、やはり僕らと背負ってるものが違うので、歌声や入場・退場もとても素晴らしかったです。だから、僕たちは今の3年生を目標として、日々の学校生活を意識していきたいです。来年、今の3年生の歌声を越えるような文化祭にして、先生や家族・地域の方に感謝の気持ちを届けたいと思いました。(7組 男子)

僕は文化祭を終えて、成長したと思うところがあります。1つ目は、みんなで協力することができたということです。なぜなら、自分が分かってない所や苦手な所を友達に相談して教えてもらっていたからです。2つ目は、真剣に取り組むということです。音楽の授業は当然、金曜日の歌声活動では、今まであまり声を出していなかった人なども、文化祭を意識してしっかり歌うようになっていたからです。3年生の歌を聞いて、僕たちが絶対に歌えないようなラテン語の歌を歌っていて、すごいと思いました。3年生の歌には僕にないぐらいのすごい迫力がありました。僕も来年は今の3年生のように迫力のある歌が歌えるようになりたいと思いました。今回の文化祭で「星影のエール」という歌を歌って本当に良かったです。(7組 男子)

今回の文化祭、すごく良かったと思います。コロナの影響で、このような形になってしまい、文化祭で歌う曲を練習する時間もすごく短かったと思うし、学年練習なんか3、4回しかなくて昨年と全然違うやり方になってしまいました。でも、みんなはあきらめたり文句を言ったりせず、全力で歌声活動していたことが、本当にすごいと思いました。1年生の時は、並ぶ時からすごく私語が多くて、毎回先生に怒鳴られたり、注意されていたけど、2年生になってすごく成長していて、並ぶ時もほとんど私語がなかったし、チャイムが鳴る前に整列が出来ていたし、ひな壇に登る時も、私語が全然なくて、先生に褒められることがあり、1年生の時と比べて本当に成長したと思いました。今日も歌声活動でみんなすごく大きな声で歌っていたと思うし、本番でも、これまで練習した成果を出し切れたと思います。文化祭が終わっても、クラス・学年での協力を大切にしたいです。(7組 女子)

文化祭当日のHRでは「星影のエール」の曲について考えました。歌詞の意味をとらえながら、イメージを膨らませて歌ったことも、すばらしい合唱につながったかもしれません。

その時書いてくれたイメージです。

